

コロナ禍の日々に(登山自粛)

会合は自粛、山へも行くな！ 新緑の山、残雪の峰々、山は絶好の登山シーズンです。三密を避け、どこへ行くのもマスク姿で。8割減を目標とする繁華街の人出。学校はお休み、会社はテレワークで、デパートもフィットネスクラブも、麻雀、パチンコも休業。都心のマンション暮らしなどは、息詰まるような日々でしょうね。イライラが募り、兄弟ケンカ、夫婦喧嘩の末にDVへと悪の連鎖か？

こんな時でも私は、田舎暮らしの良さを満喫させてもらっている。マスクも段ボール入りで相当数確保してはいるが、本気でその必要性を感じているわけではない。近くのスーパーへ行く時だけはマスクをつけるが、世間体から義理で付けているだけだ。多少広さにゆとりのある我が家は、庭木の剪定や芝刈り、草取りやらで結構仕事は多い。そこへ2年ほど前にひょうたん型の小さな池を掘ってみた。ビオトープのつもりである。スイレンを植えた鉢を沈め、ホテイアオイを浮かべ、メダカと金魚を放してある。メダカは結構繁殖し何度も知人に嫁入りさせた。池の傍に井戸を掘り井戸水を補給している。

昨秋と今春の2回、大きなアオサギが屋敷内に舞い降り、金魚が食べ尽くされた。この池で孵化した4匹の黒い金魚だけが生き残った。見栄えがしないのでまた金魚を数匹買ってきて放した。メダカは今年もたくさん仔魚が生まれた。まもなくスイレンも花を着けるだろう。

今、池にはいつの間に入ったのかミドリガメが3匹、トンボのヤゴが数匹いる。住み着いていたツチカエルの番いは引っ越しをしたようだ。おかげさまで、餌やりや水替えで退屈しない日々を過ごしている。

例会と山行、いつ再開できるか、心待ちの日々である。 ---- 織田